



## 2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月14日

上場会社名 株式会社マイネット 上場取引所 東  
コード番号 3928 URL <https://mynet.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 岩城 農  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 COO (氏名) 西村 拓也 TEL 03-6864-4261  
半期報告書提出予定日 2024年8月14日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	4,677	△2.1	309	316.9	293	340.0	276	113.9
2023年12月期中間期	4,777	2.4	74	24.0	66	1.5	129	211.2

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 297百万円 (103.7%) 2023年12月期中間期 145百万円 (34.0%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	32.76	—
2023年12月期中間期	15.31	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	4,677	1,547	30.7
2023年12月期	3,743	1,254	30.7

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 1,433百万円 2023年12月期 1,150百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期（累計）	9,600	10.1	320	89.9	295	135.3	280	95.4	33.22

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- （1）当中間期における連結範囲の重要な変更：無  
新規一社 除外一社
- （2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期中間期	8,710,334株	2023年12月期	8,710,334株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	257,973株	2023年12月期	281,621株
③ 期中平均株式数（中間期）	2024年12月期中間期	8,429,371株	2023年12月期中間期	8,429,829株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社としてお約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当中間決算に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) キャッシュ・フローの状況 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
(5) 事業上及び財務上の対処すべき課題 .....	3
(6) 研究開発活動 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間 .....	6
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(中間連結損益計算書関係) .....	9
(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係) .....	9
(セグメント情報等) .....	10
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業領域である国内ゲーム市場は2兆円の大台に到達し、中でもオンラインプラットフォームにおけるゲームコンテンツ市場は1.6兆円を超える規模を維持するなど、国内ゲーム市場において中心的な存在となっております（ファミ通ゲーム白書2023より）。

当社グループは、売上成長構造を再構築・再強化することで企業としての成長性を向上するべく、セカンダリー事業に加えて新規事業の領域拡大に力を入れおります。

以上の結果、当中間連結累計期間の売上高は4,677,746千円（前年同期比2.1%減）、営業利益は309,366千円（前年同期比316.9%増）、経常利益は293,537千円（前年同期比340.0%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は276,130千円（前年同期比113.9%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。異業種事業セグメントについては、新規事業への領域拡大の取り組みの中で最も順調に業績が推移し、量的重要性が増したため当2024年12月期より報告セグメントとして独立掲記するものです。

なお、昨年度までは単一セグメントでしたが、当2024年12月期より上記のとおり報告セグメントの区分を変更しているため、以下の前年同期比較についてはゲーム事業セグメントのみ前年同期の連結損益計算書計上額と比較分析しております。

#### ①ゲーム事業セグメント

当セグメントにはセカンダリー事業である「運営領域」、新規事業である「初期開発領域」・「BtoBソリューション領域（ゲーム）」・「スポーツDX領域」が含まれます。当中間連結累計期間の運営領域においては、前年度末に獲得したタイトルを含め、既存のタイトル運営が好調に推移しました。スポーツDX領域では、B.LEAGUE（以下、「Bリーグ」）の2023-24シーズンにあわせたBリーグ公認ファンタジースポーツ「B.LEAGUE#LIVE2023」が好調にシーズンを終えました。その他のラインについても開発中です。

以上の結果、売上高は4,439,646千円（前年同期比7.1%減）、営業利益は250,662千円（前年同期比237.8%増）となりました。なお、前年同期は単一セグメントであるため、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

#### ②異業種事業セグメント

当セグメントには新規事業である「BtoBソリューション領域（異業種）」が含まれます。当社とのグループ内連携による受注があった他、採用の決定も増加しており、グループジョインによるシナジー効果が増しております。

以上の結果、売上高は238,100千円、営業利益は58,704千円となりました。なお、当セグメントに該当する連結子会社は2023年第4四半期（10-12月）からの連結であり、前年同期は当社グループ連結前であったため比較情報は該当ありません。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産の部

当中間連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて934,072千円増加し、4,677,381千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加（前連結会計年度末比676,183千円の増加）などがあったことによるものであります。

## ②負債の部

当中間連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて640,843千円増加し、3,130,063千円となりました。これは主に、長期借入金の増加（前連結会計年度末比685,000千円の増加）などがあったことによるものであります。

## ③純資産の部

当中間連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて293,228千円増加し、1,547,317千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加（前連結会計年度末比276,130千円の増加）などがあったことによるものであります。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ676,183千円増加の2,206,695千円となりました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において営業活動により得られた資金は、63,097千円となりました（前年同期は13,816千円の収入）。主な収入要因は、税金等調整前中間純利益326,837千円であり、主な支出要因は売上債権の増加額197,135千円であります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において投資活動により使用した資金は、94,616千円となりました（前年同期は96,271千円の支出）。主な収入要因は、敷金及び保証金の回収による収入71,444千円であり、主な支出要因は無形固定資産の取得による支出103,405千円であります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において財務活動により得られた資金は、707,702千円となりました（前年同期は287,500千円の支出）。主な収入要因は、長期借入れによる収入1,500,000千円であり、主な支出要因は長期借入金の返済による支出475,000千円であります。

## (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した「経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」中の会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定の記載について重要な変更はありません。

## (5) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当中間連結会計期間において、当社グループが優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題について重要な変更事項はありません。

## (6) 研究開発活動

該当事項はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,530,512	2,206,695
売掛金及び契約資産	1,141,446	1,338,581
未収入金	6,899	6,592
未収還付法人税等	5,537	2,418
その他	249,973	208,453
貸倒引当金	△30,000	△30,000
流動資産合計	2,904,367	3,732,739
固定資産		
有形固定資産	20,222	22,043
無形固定資産		
のれん	187,955	164,170
その他	100,905	200,760
無形固定資産合計	288,860	364,930
投資その他の資産		
投資有価証券	240,239	329,541
敷金	101,939	44,941
長期前払費用	1,503	—
繰延税金資産	186,026	183,034
その他	151	150
投資その他の資産合計	529,858	557,666
固定資産合計	838,941	944,641
資産合計	3,743,309	4,677,381

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	213,451	245,641
未払金	232,176	300,175
契約負債	131,006	114,719
短期借入金	235,001	112,703
1年内返済予定の長期借入金	160,000	500,000
1年内償還予定の社債	290,000	190,000
未払法人税等	18,923	31,054
賞与引当金	74,986	78,876
その他	329,200	158,848
流動負債合計	1,684,743	1,732,016
固定負債		
長期借入金	315,000	1,000,000
社債	470,000	375,000
繰延税金負債	19,476	23,047
固定負債合計	804,476	1,398,047
負債合計	2,489,220	3,130,063
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	49,631	49,631
資本剰余金	1,390,438	1,380,648
利益剰余金	△222,804	53,325
自己株式	△100,328	△89,970
株主資本合計	1,116,936	1,393,635
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,692	40,292
その他の包括利益累計額合計	33,692	40,292
新株予約権	4,500	—
非支配株主持分	98,961	113,390
純資産合計	1,254,089	1,547,317
負債純資産合計	3,743,309	4,677,381

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	4,777,004	4,677,746
売上原価	2,999,833	2,815,586
売上総利益	1,777,170	1,862,159
販売費及び一般管理費	1,702,964	1,552,793
営業利益	74,206	309,366
営業外収益		
受取利息	408	387
為替差益	5,948	9,992
法人税等還付加算金	1,020	6,055
助成金収入	2,772	—
その他	1,128	1,347
営業外収益合計	11,276	17,781
営業外費用		
支払利息	5,542	4,993
社債利息	2,811	1,695
投資事業組合運用損	10,156	3,384
支払手数料	—	23,500
その他	258	38
営業外費用合計	18,767	33,610
経常利益	66,715	293,537
特別利益		
関係会社株式売却益	139,604	—
投資有価証券売却益	12,000	28,800
新株予約権戻入益	1,251	4,500
特別利益合計	152,855	33,300
特別損失		
特別退職金	48,539	—
特別損失合計	48,539	—
税金等調整前中間純利益	171,031	326,837
法人税、住民税及び事業税	32,008	33,205
法人税等調整額	9,950	3,072
法人税等合計	41,959	36,277
中間純利益	129,071	290,559
非支配株主に帰属する中間純利益	—	14,429
親会社株主に帰属する中間純利益	129,071	276,130



## (中間連結包括利益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	129,071	290,559
その他の包括利益		
<del>その他有価証券評価差額金</del>	<del>16,803</del>	<del>6,600</del>
その他の包括利益合計	16,803	6,600
中間包括利益	145,874	297,159
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	145,874	282,730
非支配株主に係る中間包括利益	—	14,429

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	171,031	326,837
減価償却費	65,935	6,956
のれん償却額	6,000	23,785
受取利息及び受取配当金	△408	△387
支払利息及び社債利息	8,354	6,689
為替差損益(△は益)	△5,948	△9,992
投資事業組合運用損益(△は益)	10,156	3,384
関係会社株式売却損益(△は益)	△139,604	—
売上債権の増減額(△は増加)	△383,417	△197,135
未収入金の増減額(△は増加)	△8,164	307
仕入債務の増減額(△は減少)	△119,397	32,190
未払金の増減額(△は減少)	△47,334	67,999
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,793	3,890
その他	449,935	△193,928
小計	2,348	70,596
利息及び配当金の受取額	409	388
利息の支払額	△8,940	△6,261
法人税等の支払額	△7,390	△5,184
法人税等の還付及び還付加算金の受取額	27,389	3,558
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,816	63,097
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△108,241	—
投資有価証券の取得による支出	—	△72,494
投資有価証券の売却による収入	12,000	28,800
有形固定資産の取得による支出	—	△3,751
無形固定資産の取得による支出	—	△103,405
敷金及び保証金の回収による収入	—	71,444
敷金及び保証金の差入による支出	△30	△360
その他	—	△14,850
投資活動によるキャッシュ・フロー	△96,271	△94,616
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	37,500	△122,298
長期借入れによる収入	—	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△80,000	△475,000
社債の償還による支出	△245,000	△195,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△287,500	707,702
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△369,956	676,183
現金及び現金同等物の期首残高	1,943,488	1,530,512
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,573,532	2,206,695

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
給料及び手当	892,283千円	776,872千円
退職給付費用	16,066千円	14,068千円
賞与引当金繰入額	69,069千円	78,876千円

(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
現金及び預金勘定	1,573,532千円	2,206,695千円
預入期間が3か月を超える定期預金	－千円	－千円
現金及び現金同等物	1,573,532千円	2,206,695千円

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

当社グループは、ゲーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結損益 計算書計上額
	ゲーム事業	異業種事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,439,646	238,100	4,677,746	—	4,677,746
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,400	—	8,400	△8,400	—
計	4,448,046	238,100	4,686,146	△8,400	4,677,746
セグメント利益	250,662	58,704	309,366	—	309,366

(注) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「ゲーム事業」セグメントについては、当社は従来より、ゲーム事業の特にセカンダリーを既存領域として、事業成長に取り組んでまいりました。昨今、既存の枠組みを超えた新領域にも事業展開を行っており、当該新規領域として初期開発、BtoBソリューション(ゲーム)、BtoBソリューション(異業種)及びスポーツDXの合計4領域を定めております。

上記セグメントにおける「異業種事業」はBtoBソリューション領域(異業種)を指しており、新規事業への領域拡大の取り組みの中で最も順調に業績が推移し、量的重要性が増したため当中間連結会計期間において報告セグメントとして独立掲記するものです。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。